



VOL.16 NO.4 The University of the Ryukyus Library Bulletin 1983.12.1

附属図書館長就任に際して

附属図書館長 瀬名波 榮 喜

去る10月1日付を以て、私が本学附属図書館長に就任することになりました。今まで大いに図書館を利用させてもらったし、また、今後もそうであろうとばかり思っていた私が、一転して学生や教官にそれを利用させる立場に変わらうとは夢想だにしていまませんでした。そのようなことになると思えば、大学時代は英文学に代って図書館学を専攻すべきだったかも知れないと考えたりします。

さて、私が就任してまもなく、ハワイから一通の手紙が舞い込んできました。G. H. Kerr氏からです。Kerr氏といえば、あの琉球歴史研究者の一人で、本学図書館に大きな貢献をした方です。彼は手紙の中で、図書館の大学における重要な役割を強調し、それは *the heart of the university* であると断言しています。この修辭学的表現が妥当であるならば、図書館長の任務は、その機能を活発ならしめ心不全ならぬよう最

目	次
附属図書館長就任に際して……瀬名波榮喜…1	アセアン五ヶ国関係資料コーナーの設置について……………15
視点を変える……………木崎甲子郎…3	上原分室だより……………17
沖縄関係貴重資料展示会……………4	<お知らせ> 年末年始の開閉館について…20
George. H. Kerr 博士寄贈図書目録…………10	本学教官著書寄贈コーナー……………21
ブラウジングコーナー……………13	投書箱より 8月~10月分……………21
「昭和58年度大学図書館職員長期研修」参加雑感……………松原 敏夫…14	図書館事情……………22

大の努力を払うことだと思えます。研究・教育を本来の使命とする大学においては、たしかに図書館は中枢的な役割を演じております。大学の学問的水準がしばしばその図書館によって評価されるのもそのためでありましょう。

就任して先ずびっくりしたのは、本学図書館のみならず他の大学図書館においても一大革命が起きつゝあるということでありました。それがコンピュータライゼーションであります。ご存じのように、本学図書館においては、すでに昭和57年10月以来、閲覧業務の電算化を促進し、サービスの拡大につとめてきました。さらに、開架図書7万4千冊を入力し、近い将来、端末機を通してそれらの情報検索ができるように、目下作業中であります。もちろん、書庫の図書も新規購入図書もその計画であります。

一方、文部省では、東京大学文献情報センターを全国共同利用施設として設立し、各学問分野の研究成果を迅速かつ的確に把握すると共に「広く流通させ、正当な評価」を受けることができるようにその準備を着々とすすめています。この文献情報センターと学術情報システムが実現され、実施されると、本学図書館も学術情報ネットワークの中に組み入れられ、われわれは、居ながらにして、国内外の二次情報は言うに及ばず、一次情報の所在をも検索することができるようになります。このように、電算化が次々と実現されると、各大学の図書館は、学内外、国内外に広く開放されることになりましょう。その日の来るのもそう遠くはないようです。

しかし、コンピュータライゼーションによる図書館の革命にもかかわらず、図書館本来の目的や使命は何ら変わることはありません。いうまでもなく、大学は研究者のコミュニティーであり、そこでは教官も学生も research なくしては生き延びることはできないからであります。学問の分野によってはその場所を実験室、大自然、一般社会等に求めなければならないものもあるが、人文科学、社会科学、自然科学の別なく主な research の場所は何といても学術情報の所蔵されている図書館でなければならない筈です。図書館が *the paradise for the great scholars* とよばれる所以もそこにあります。にもかかわらず、本学学生の20%~25%が図書館を全く利用していないという調査結果をどう解釈すればよろしいのでしょうか。

大学のコミュニティーでは研究者が何人か集ると、図書館のコレクションがよく話題に上ります。例えば、英文学者の口からは Houghton, Berg, Huntington, Folger, British Museum 等の図書館名が次々に出てきます。それは何れもある特定の学問分野に関する蔵書や manuscripts のコレクションを有し、そのため著名な研究者が多く、また若い研究者を輩出しているからであります。琉球大学附属図書館もそのような特色ある研究図書館に育てあげ、学界に貢献したいと願うものであります。

就任にあたり、学生、教官、事務官各位の積極的かつ建設的な御協力を希望いたします。

————— (せなは えいき: 教育学部教授・英文学) —————

視点を考える

前附属図書館長 木 崎 甲子郎

ミーニン（新北風）が吹きはじめて涼しくなったこともあり、わたしは最近休日のたびに北部のやぶ山歩きにはげんでいる。10 数年も愛用してきた古い山靴のビブラム底を張り替えたことがきっかけだった。

沖縄島の最高峰は与那覇岳（498 m）であり 500 m にも足りない。この程度の標高では山登りの対象にはならないのがふつうだ。ところが、北部の森は思いのほか深い。山道はイタジイなどの照葉樹林の密生に囲まれているし、尾根筋から見下ろす森林の深さはまさに深山幽谷の趣きがある。この深い森の道を涼しい風に吹かれて歩く楽しみにすっかりとりつかれてしまったのだ。

沖縄と言えはすぐ、青い海・サンゴ礁とくる。わたし自身も三点セットを使ってリーフでサンゴや熱帯魚を眺めて遊んだ覚えもある。そして、沖縄はやはり海だと思ったものである。しかしいま、北部の森のなかを縦横に縫っている山道を歩く楽しみを発見したのである。沖縄へ来て 10 年以上も経った今になって、なんとも間のぬけた話ではあるが、新発見とはえてしてこんなものだ。もちろん、学生諸君にはワンダーフォーゲル部などの山歩きをするクラブがあり、北部の山や谷はしらみつぶしにルートをつけているだろうから、これはまったくわたしの個人体験の話であるのはいうまでもない。

“沖縄イコール青い海・サンゴ礁”という既存概念はわたしのなかで崩れ落ちてしまったと言ってよい。新しい靴底というちょっとしたきっかけがわたしに新しい視野を拓けてくれたのである。

さて、現在の大学附属図書館は急速に変わりつつある。そのなかでいちばん目につくのは電算化だ。わが図書館でも現在稼働中の閲覧システムに加えて、近い将来には受入・整理など事務的な業務はすべて電算機がやってくれるようになる。検索もカードではなく各学部においてある端末器でできるようになるだろう。そのほしりに、今年度末までには開架 7 万冊については端末器で検索できるようになるはずだ。将来は閉架分や雑誌についてもそれができるようになることはまちがいない。これまでの図書館像からは想像もできない変化だ。

こうして、各種の情報の電算化が進んでくると、ある時点で“あっ”と思うようなまったくちがった視野がひろがってくるような予感がする。トフラーも思いの及ばなかったことが見えてくるだろう。

動きの遅い沖縄島の自然でも、視点を変えたとき、その全体像はがらりと変わってしまう。急激に変化している図書館像を見つめながら、従来の概念から離れて視点を変えたとき、なにが見えてくるだろうか。大学そのものが見えてくるようでもある。これはひとつじっくり考えてみたいテーマである。

（きざき こうしろう：理学部教授・地殻学）

沖縄関係貴重資料展示会

趣旨

本館が所蔵する沖縄関係貴重資料の展覧目録を逐次作成する書誌的作業の一端として、さしあたり一部分の貴重資料を館内に展示し、観覧者に資料的価値の認識と啓発を高めてもらうために開催するものである。

さらに、今年の読書週間にちなんで行事的趣旨をも高めるために実施するものである。

展示資料

古記録	9点
刊本	2点
マッカーサ書簡	1点
戦後資料	6点

展示期間・時間

1983年10月24日(月)～29日(土) 6日間(9:00～16:45)

展示方法

1. 館内(玄関正面ロビー)の一部を利用し、展示ケース棚(2セット)に収納し、観覧者の手が触れないように厳重保管する。
2. 展示資料は、個々に書誌的事項及び解説を付しておく。
3. 展示資料の出品及び収納は、毎日実施する。

出品——8:30～9:00,

収納——16:45～17:00,

4. 「学外観覧者名簿」を備えつけ、住所・氏名を記帳してもらう。

おもろさうし 仲吉本 (伊波普猷文庫)

全7冊(巻1～巻22). 877枚. 26.8×19.0cm 袋綴. 楮紙.

「安仁屋本」系統に属する「琉球史料本」の子本である。仲吉朝助の委嘱をうけて恩河朝祐・仲吉良吉らが、明治末期頃に筆写した、と伝えられている。秘蔵者・仲吉朝助が伊波普猷に贈った経緯から「仲吉本」のいわれがある。1934年(昭和9)2月～3月にかけて、我那覇朝義が「尚家本」と校合し、付箋・校異などの註記がほどこされている。伊波普猷没後、1955年(昭和30)11月17日、琉球大学に譲与された。

琉球語新約全書 (伊波普猷文庫)

全2分冊(上下). 649枚. 23.0×17.0cm 洋装版. 白紙. 各枚片面使用. 8行間 鉛筆書き 背文字は毛筆で「琉球語新約全書」伯徳令譯と、記されている。筆写者・筆写年代は不詳。

1846年(弘化3)4月、英国の琉球海軍伝道会から派遣された宣教師 B. J. Bettelheim が、沖縄滞在(8年)中に聖書を琉球語訳し、1855年(安政2)10月香港で出版した。この全書は、第1分冊 約翰伝福音書(第1~21章)、路加伝福音書(第1~20章)、第2分冊 路加伝福音書(第22~24章)、聖差言行伝(第1~28章)、保羅寄羅馬人書(第1~6章)が収められている。

聞得大君加那志様御新下日記 (伊波普猷文庫)

全1冊. 192枚. 21.8×18.8 cm 袋綴. 藁紙. 表紙に「道光二十年八月三日 大里間切」と記されている。

「聞得大君」というのは、琉球国の祭祀をつかさどる最高位の神女で、王妃や王姉妹が任命される。その就任式のことを「御新下」(ウアラウリ)と称する。

この日記は、1840年(天保11)8月の挙式するとき、首里から斎場御嶽までの道の清掃、道ゆき(行列)、仮屋設営、雑貨や献上品の調達などを日次に記録したものである。大里間切(所管役所)の役人が記録・保管したことは、各枚に割印(公印)されていることから知ることができる。

屋嘉比朝寄工工四 (伊波普猷文庫)

全1冊. 43枚. 26.9×19.8 cm 袋綴. 楮紙. 表題紙に「屋嘉比之御筆而可有之及存候」とあり、奥書に「向元得 喜舎場朝苗」と記されている。

ほかに類書をみない三味線音曲譜で、117曲が収められている。拍子・速度・発声などについて、支那の楽譜を参酌し、独自の様式にもとづいて採譜した三味線音曲の原譜といわれている。

1958年(昭和33)1月17日、当時の琉球政府文化財保護委員会から「重要文化財」の指定を受け、現在は「沖縄県指定有形文化財」となっている。

註：沖縄県教育庁文化課の援助で、1977年(昭和52)4月、全面的に補修される。

喜安日記 (伊波普猷文庫)

全1冊. 51枚. 24.8×19.7 cm 袋綴. 楮紙. 表題紙は剥離す。

喜安入道蕃元の日次(日記)である。喜安は、泉州堺に生まれ、1600年(万暦28)に来琉し、茶道職として尚寧王に仕次したといわれている。

1609年(慶長14)3月、薩摩の琉球侵攻前後から、国王尚寧の囚にともない薩摩・江戸に上国し、1611年(慶長16)10月帰国までの日次(日記)であるが、その成立した時代については、異説がある。

「嘉慶二十五年庚辰十一月〇七日 写之」と、末尾に記されている。ときに1820年(文政3)11月に筆写されたことになる。

浦添家本 伊勢物語 (鳥袋源七文庫)

全1冊. 110枚. 25.0×17.5 cm 綴帖装. 鳥の子紙

「伊勢物語」古写本についての書誌学的研究によると、「伊勢七本」と称される異種本のはかに、藤原定家自筆本の系統をくむ「定家三本」、すなわち「天福本」「武田本」

「流布本」がそれであるといわれている。由緒ある浦添御殿に持渡書として伝えられた、この古写本は多分に「流布本」の系統に属するものであろう。

沖縄における和文学の受容及び歴史を考察するうえで、一級の資料的価値を有するものである。

註；1974年（昭和49）10月3日「沖縄県指定有形文化財」となる。

手形 八重山嶋江一世流刑 （宮良殿内文庫）

1枚. 27.9×70.8 cm 続紙. 楮紙.

この手形は、1854年（安政元）1月、ペリー提督等が再び来琉したとき、水兵殺害事件がおきた。主犯は田場武田といわれたが、田場にかわって「かま渡慶次」と名乗る人物を犯人にしたてて、八重山に流刑に処すというものである。

1854年（安政元）9月、琉球国布政官から八重山在番宛に令達されている。

幕末期における外国船が瀬繁に来琉する背後に、琉球国の外交上「苦肉の策」の一端がかいまみる貴重な資料である。

祭之時膳符日記 （宮良殿内文庫）

全1冊. 129枚. 26.7×20.0 cm 袋綴. 楮紙.

八重山の旧家「宮良殿内」の私的な記録一日記一である。ときの祭主は、第八代目にあたる宮良當宗となっている。

1862年（文久2）4月27日、曾祖父及び同御内室、祖父及び同御内室、伯母、伯祖父、父、姉の各年忌法要を挙行したときの精進膳符（膳部）の献立が克明に記されている。料理研究、とくに「精進料理」の研究に貴重な資料である。

久米島仲里旧記 （仲原善忠文庫）

全1冊. 46枚. 28.8×22.3 cm 袋綴. 楮紙.

1713年（康熙52）官撰修史である「琉球国由来記」中の久米島仲里間切に関する部分的事項が、この旧記の内容とほぼ対応しているといわれている。

ぐすく・いべの由来、村立の由来、年中儀礼、嶽々の神名、雨乞い、虫除けの古謡などの内容から構成される。

この旧記成立の年代及び筆写の来歴などについては、正確に知られていない。

久米島の歴史・習俗・祭祀・古謡の研究に一級の貴重な資料である。

Basil Hall

Account of a Voyage of Discovery to the West coast of Corea, and the Great Loo-Choo Island. ロンドン John Murray 社 1818年刊.

317ページ. カラー図版9枚. 29 cm. 洋装版

バジル・ホール（1788—1844）は、1816年英艦ライラ号の艦長として中国使節のマーレスト卿を護送したのち、9月から10月にかけて、アルセスト号（マックスウェル艦長）と共に沖縄を訪問した。この本によって親切で友好的な沖縄人のイメージが欧州に伝えられたというが、1893年に沖縄で言語、民俗調査をした B. H. チェンパレンは

著者の外孫である。なお、付録には後年琉球海軍伝道会の創始者となるクリフォードが採集した「琉球語彙」がついている。

Basil Hall (ブール文庫)

Narrative of a Voyage to Java, and the Great Loo-Choo Island.

ロンドン, Edward Moxon 社 1840 年刊.

628 ページ. 地図 2 ページ. 23 cm クロース

この本は、1818 年版からかぞえて第 3 版にあたるが、初版本にはない“セントヘレナ島でのナポレオン一世との会見記”がふくまれており、興味深い。他に、アンソンの世界航海記 (1740—1744) やウィルキンスの冒険記などが収録されていて、現在では初版本に比較して入手困難となっている。

マッカーサ書簡 (原文)

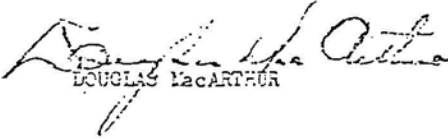
GENERAL HEADQUARTERS
SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS
OFFICE OF THE SUPREME COMMANDER

Establishment of the University of the Ryukyus is an event of outstanding importance in the cultural and intellectual history of these Islands. It is, moreover, particularly appropriate that the University, founded upon the ancient site of the throne of Ryukyuan kings, should be dedicated on the birthday of one who though personally humble was himself kingly among the great of the world—Abraham Lincoln. As in youth he made such purposeful use of his meagre yet fine resources—chiefly the Bible, Shakespeare, and Euclid—so too the eventual greatness of this institution will depend not on the multiplicity but the quality of its resources and its wisdom in using them.

The first and forever primary task of this University must be to educate Ryukyuan youth that they may develop to the fullest their own capacities for service. They must be inspired with the desire to increase and enrich opportunities for those who come after them to develop similarly, that the potentialities which have so long lain fallow in their homeland may be brought to fruition. This new institution should be so grounded in the traditions of the people whose intellectual aspirations it embodies as to conserve and pass on their rich cultural legacy, and yet provide for its students knowledge of the best in all civilizations of the past and those of our own time. And may its students, as the result of the opportunity the University offers, make their own contribution to the sum of human knowledge.

Conceived in the aftermath of war and intended to flourish in the ways of peace, the University is born as the champions of freedom rally once more to defend their heritage against those forces that would enslave the mind of man.

This concern for freedom of learning, for things of the spirit, which brought this University into being has never been dimmed by the obscurantism and oppression designed to extinguish it. This dedication is, therefore, another expression of faith and an unshakable resolve that the ideals for which our universities have stood throughout the centuries, in the great tradition of which this institution now takes its place, will continue to foster and perpetuate, forever eager in their quest for truth—and forever free!



DOUGLAS MacARTHUR

マッカーサー書簡（訳文）

連合国最高司令官総司令部

最高司令官室

琉球大学の創立は、琉球の文化・精神史上、最も顕著な出来事である。さらにふさわしいことには、由緒ある琉球王朝玉座の地に創設された本学が、自らは謙虚でありながら世界の偉人に列して、王の如き存在であったアブラハム・リンカンの生誕の日に献じられるということである。リンカンの青年期の資産といえば、主に聖書、シェークスピア、ユークリッド幾何学等きわめて乏しいものであったのだが、彼はそのすばらしい資産を有効に活用した。それと同様、将来の本学の発展もその資産の量如何にあるのではなく、その質とそれを活用する英知にかかっているのである。

最初にして永遠なる本学本来の使命は、琉球の若人たちが自己の能力を最大限に伸ばせるように教育することではなければならない。

彼らは、自分たちと同様に能力を開発しようと後に続く若者たちのために、機会を増大し且つ豊かにする熱意に燃えていなければならない。かくして、長い間土壌の中で休眠状態にあったその潜在能力は実を結ぶことができるのである。新設の本大学は、住民の伝統に根ざさねばならない。大学は住民の精神的憧憬を体現するものであり、豊かな文化遺産を保存・伝達し、学生に対して過去及び現代における最高の文明に関する学問的知識を提供しなければならない。そして、学生たちが大学の与える機会を利用した結果、自ら学問的貢献をされんことを祈るものである。

本学は、戦塵未だおさまらぬなかに芽生え、且つ平和への道を歩んで繁栄すべく期待されているが故に、われわれの精神を隷属せんとするあらゆる権力に抗して、またもや人類の文化遺産を擁護するために、自由擁護の戦士として創立されるのである。この本学の建学精神たる学問の自由に対する信念は、それを消滅せんと企む反啓蒙主義や弾圧のために、決して曇らされることはなかったのである。従って、本学の献呈は、換言すれば、その信念と揺るがざる決意の表明であり、今回本学の参与する偉大な伝統のなかにおいて大学が幾世紀にもわたって象徴してきた理念は、将来も貫かれ且つ永遠に変わることはないであろう。大学はとわに真理探究に情熱を燃やし、とわに自由であれ！

ダグラス・マッカーサー

（附属図書館長 瀬名波榮喜訳）

戦 後 資 料

戦後資料は、復帰当時、米国民政府にあった昭和20年(1945年)4月から復帰時の昭和47年(1972年)5月15日までの、いわゆる「米国の沖縄統治資料—文書資料」のことをいい、当時の琉球列島高等弁務官ジェームス・B・ランパート中将与、琉球大学学長池原貞雄教授(後に高良鉄夫学長に引きつがれた)及び法政学科宮里政玄教授が折衝した結果、秘密文書(国防、軍事、外交関係)以外の資料なら複写してもよいとの了解を得たことから、文部省の特別援助費2,370万円の援助で複写したものであります。

複写物の対象は、当時の民政府、即ち総務局を始め、厚生・教育、経済、労働、計画、渉外、法務、広報、公益事業及び公安の各局にあった資料におよび、その枚数は約60万枚に達しております。

しかしながらこの数量は、総枚数のわずか1~2%位ではないかといわれ、すべての文書資料がアメリカ国立文書館に移管されてしまった今日では、これらの複写資料は大変重要な意味をもつものと思われまます。

今回は、これらの中から貴重なものを選んで展示しました。

展 示 資 料

1. 米海軍軍政府布告 第1号 =ミッツ布告(日本国政府権限の停止文書) 布告年月日不明
2. 郡島政府組織法改正等に関する行政命令 第22号(1950年10月25日発行)
3. 米軍政府諸物資卸売、小売価格表についての指令(1948年1月2日公布)
4. 米政府行政命令に対する「沖縄タイムス」の論説記事を英訳したもの(1962年3月23日紙上)
5. 沖縄民政府公報 第1号(1949年1月31日発行)
6. 臨時北部南西諸島政庁公報 第1号(1947年4月5日発行)

<展示会終了後の感想>

1. 展示期間中は、学内の教官及び学生多数が観覧し、なかには熱心にメモをとる学生がみられた。
2. 新聞及びテレビ等のマスコミを通して宣伝した故か、学外の観覧者が65名におよび、関心の深さが思い知らされた。
3. 展示期間が終って、「展示会開催中か」との問合せが二、三あった。

(新城安善 整理係長)

George H.Kerr 博士寄贈図書目録

G. H. Kerr 博士の本館への寄贈は、1955年（昭和30）に始まり今年まで毎年のように継続しておりますが、今回は今年度の寄贈分（5月21日、10月17日受入）を次に掲載します。

5月21日受入図書

1. 奄美郷土研究会報 奄美郷土研究会
2. 龍の系譜 新崎盛敏
3. 村勢要覧 島尻郡具志川村
4. 珊瑚の島 ベリカン写真文庫
5. 平良市の文化財 平良市教育委員会
6. 奄美の民謡 久松旅館
7. 鹿児島県植物方名集 鹿児島県立博物館
8. 「沖縄移民の父 当山久三」の反響 金城武男
9. 湧上聾人とその時代 前川守仁
10. 八重山の明和大津波 牧野 清
11. ハワイ移民記念館開館記念展 財団法人博物館「明治村」
12. 名勝識名園環境整備事業報告書 1号 名勝識名園環境整備委員会
13. 奄美大島土浜ヤーヤ洞窟遺跡調査概報 永井昌文 三島 格
14. 奄美史談 徳之島事情 名瀬市史編纂委員会
15. 伯徳令 琉球政府文教局
16. 琉球の文化 式場隆三郎
17. 南島関係資料目録 島尾敏雄
18. 死の棘 島尾敏雄
19. 島の果て 島尾敏雄
20. われ深きふちより 島尾敏雄
21. 夢の中での日常 島尾敏雄
22. 高郡逸技 鹿野政直 掘場清子
23. 尚古集成館設立趣旨と集成館の沿革 島津忠重
24. 稲垣稔次郎の世界一京の染色 サントリー博物館
25. 殉教者本宮良の主 渡久山寛三
26. 沖永良部島郷土資料 和泊町公民館
27. 八重山文化論集 第2号 八重山文化研究会
28. The Journal of Asian Studies, v.23, No.3.: Association for Asian Studies
29. Beitrage zu einen Kulturhistorischen Bibliographie den Ryukyu Inseln.: Binkenstein, Rolf
30. Sino-Lie-Ch' iuan Relations in the 19th Century.: Ch'en Te-tuan
31. Ryukyu Lacquer.: Garner, Harry M.
32. Studies of Okinawa Village Life.: Glachen, Clarence J.
33. Wae Yang Jin: Eight Months Journal ...during Visits to Loochoo, Japan and Pootoo.: Halicran, Alfred Lawrence
34. Okinawan Customs, Yesterday and Today.: Haring, Douglas
35. Okinawa: Recent Political Developments.: Higa Mikio
36. The Reversion Theme in Current Okinawan Politics.: Higa Mikio
37. Okinawa Cookery and Culture.: Hui O Laulima
38. The Iriomote Cat.: Imazumi, T.
39. "Unfinished but Enduring-Yanagita's Folklore Studies" Excerpt. Japan Quarterly, V. 10., N. 1.: Ishida Eiichiro
40. Performing Arts of Okinawa Brochure.: Japan Studies Institute, Univ. Hawaii
41. Pura Musuzuma: Archeological Work on Miyako Island Ryukyus.: Kaneko Erika and Herbert Melichar
42. Ryukyu: Kingdom and Province Before 1945.: Kerr, G. H.
43. Memorandum: Cultural Assets Conservation Work in the Ryukyus.: Kerr, George H.

44. Ryukyu Kagami: Notes on a Recent Trip Through the Ryukyus, Nov. - Dec. 1969.: Kerr, George H.
45. Okinawan Religion: Belief, Ritual and Social Structure.: Lebra, William P.
46. Military Aid of the Ryukyus and Other Southeastern Asian Nations to Korea during the Hideyoshi Invasion of 1592.: Lee Houn-jong
47. The Majikina Honryu in the Dance Art of Okinawa.: 真境名本流
48. "Women who are Gods".: Matsubara, Hiroshi
49. Ryukyuan Image of China and the Chinese.: Matsuda Mitsugu
50. Geographical Aspects of Agricultural Change in the Ryukyu Islands.: McCune, Shannon
51. The Ryukyu Islands.: McCune, Shannon
52. The Guide Book of New Okinawa.: Okinawa Sightseeing Association.
53. Fifty Years of Okinawa Prefecture.: Ota Chofu
54. Archaeology of the Ryukyu Islands—a Regional Chronology from 3000 B. C. to the Historic Period.: Person, Richrd J.
55. Domestic Factors Affecting Japanese Foreign Policy Problems of the Year 1970.: Royama Michio
56. Okinawa Naval Mission.: Rubenstein, I. H.
57. The Loo Choo Islands: A Chapter in Missionary History.: Schwartz, Henry B.
58. The Culture of Kabira, Southern Ryukyu Islands.: Smith, Allen H.
59. "Ryukyu Islands".: Smith, Allen
60. Social Controls in a Southern Ryukyuan Village.: Smith, Trude
61. The Teahouse of the August Moon.: Snieder, Vern
62. Traditions of Tsuboya.: Stockton, Elizabeth
63. Archaeological Investigation of Okinawa and the Adjacent Islands.: Takiguchi Hiroshi & Mishimura Masae
64. B. J. Bettelheim and Mission Literature of the Ryukyus.: Thorp, Charles C.
65. Study on Land Problems in Okinawa.: Toma Jugo
66. "The Okinawa-Naichi Relationship" from Social Process in Hawaii.: Toyama, Henry & Kiyoshi Ikeda
67. Two Aspects of Trusteeship.: Dept. States
68. The Phillipine Islands, 1493-1898.: Index to Blair & Robartson
69. Philippine History. (Script): Alip
70. Philippine: Script. (of Yonaguni script boards).
71. Chu Fan Chi.: Chau Ju-kua
72. Double Outrigger Sailing Canos.: Spoehr
73. Study of Pacific History (1955).: Davidson
74. 講談うなぎの殿さま 伊豆 栄
75. The View from Okinawa.: Seidensticker
76. Early Spanish Notices of Ryukyu.: Blair & Robertson
77. Uranda-baka.: Hokama Seisho
78. French Graves at Yamachi.
79. The Prague Collection Univ. of Maryland Library.: Shulman, F. J.
80. Literature of SE Asia.: Echols
81. Self-determination and Dependent Areas.: Riblin, B.
82. American Policy Toward Pacific Dependencies.: Emerson, R.
83. International Trusteeship and the Trusteeship Council.: United Nations
84. Condition in Five Trust Territories

- Reviewed.: U. N. Bulletin
85. The United States in a New World: Pacific Relations.: Fortune Mag.
86. 沖縄出土の中国陶磁
87. Japanease Ministry of Foreign Affairs Documents Listed.: Uehara
88. Obituary of C. Leavenworth 1949.: N. Y. Times
89. Farmer, D. C.: On Majikina Yuko.
90. Portugal and Japan.: Matsuda Kiichi
91. Korean Literature.: Pihl, M. R.
92. Chinese Literature.: Hsu, Kai-yu
93. Lecture on MacArthur's Constitution.: Asiatic Society
94. Italy's Note to Japan, 1873.
95. Maps: Miscelley.
96. 八重山郡島出土の古陶磁について 大浜永 亘他
97. Okinawa Prefectural Gov't.: Statistics for 1937-1938 on Population etc.
98. Medical School Public Health Program.: U. H. / Ryudai
99. 放送劇 うらとみ
100. Maps: Pacific Ocean and Other.:
101. Investiture of Lie-Ch'iu. Kings in the Ch'ing Period.: Ch'en Ta-tuan
102. The Ryukyu (Lie-Ch'iu) Islands as a Fief of Satsuma.: Sakai, R. K.
103. History Lecture Notes for Oshima High School. Showa 32. 54pp. (和文)
104. The Ryukyu: Abstracts from European-language books about the Ryukyus.
105. Okinawa: A Developing Crisis Situation.
106. Rough Notes, on Journals, Voyages, etc.: Kerr, G. H.
107. Okinawa Scrapbook. compiled by Neal Y. Goya.
108. Abstracts from European-language books about the Ryukyus.
109. Maps; Kyoto and others.
110. The Potters and Pottery of Satsuma.
111. 奄美大島書誌 島尾敏雄
112. Route of the Providence, 1796-1797.: H. M. S.
113. Paul C. Blum Collection. (Yokohama Archives of History.) ブルーム コレクションの概要
114. Air line maps route.
115. Hawaii Okinawan Jubilee.
116. The Man who Discovered America.: Manjiro
117. 種子ヶ島南種子町広田の埋葬遺跡調査概報
118. 奄美大島諸島名瀬市街地図
119. 使徒信経講解 釘宮辰生
120. The Sarowak Museum Journal.
121. Report to the United States: United States Agricultural Technical Mission, Taipei
122. Civil Administration of the Ryukyu Islands.
123. Customs and Culture of Okinawa.: Zabilka, G.
124. Tours of Okinawa.: Fuchaku, Isamu et al.
125. Handicrafts of Okinawa: A Pictorial Record.: Hokama, Seiko
126. An Exhibition of Okinawa textiles, etc. Presented by the Museum of Folk-crafts, May 13-May 18, 1955. Museum of Folk Crafts, Tokyo:
127. Principal Earthquakes and Volcanic Eruptions in the Okinawa Islands.: Musya, K.
128. Ryukyu Students Who Have Received Degrees from American Universities under the Ryukyuan Scholarship Program from 1949 through 1969.
129. 那覇の物産 1954 那覇市勧業課
- 10月17日受入図書
- 古琉球 伊波普猷 青磁社 昭和17 466p
 - 琉球古今記 伊波普猷 刀江書院 大正15 621p
 - 沖縄歴史物語 伊波普猷 ホノルル マカ

- レー 東本願寺 1948 255p
4. 山河あり 川平朝申 那覇文教図書 1966 267p
 5. 日米開戦当時のイヌ物語 賀数箸次 ホノルル 1941 99p
 6. アメリカ移民百年史 上 加藤新一 時事通信社 昭和46 293p
 7. アメリカ移民百年史 下 加藤新一 時事通信社 昭和46 291p
 8. 雄飛 第31号 沖縄県海外協会 那覇 昭和49
 9. 布哇日本人史 木原隆吉 文成社 昭和10 891p
 10. 沖縄一千年史 真境名安興, 島倉龍治 那覇沖縄新民報社 昭和27 651p
 11. 歌集銀線集 又吉全興 樹木社 昭和45 150p
 12. 琉歌物語 中原幸吉 那覇 琉球救難協会 1957 127p
 13. 守礼の門 丹羽文雄 文芸春秋新社 昭和23 267p
 14. 最新の秘露事情 大宜味朝徳 リマ 海外研究社 1932 150p
 15. 戦後の沖縄 山城善三 那覇 沖縄観光協会 1958 169p
 16. 沖縄選抜美術展 琉球政府 那覇 40p
 17. 沖縄県立博物館年報 No 11 沖縄県立博物館 那覇 昭和52 42p
 18. 虹の橋 日商工70年史 商工歴史刊行委員会 ホノルル 日本人商工会議所 1970 英文256p 日本文246p
 19. 伝説補遺沖縄歴史 島袋源一郎 那覇 沖縄書籍 昭和7 424p
 20. 琉球芸能全集 1 琉球の民謡と舞踊 島袋盛敏 おきなわ社 昭和31 294p
 21. 那覇市概観 1952年版 志良堂清英 那覇市役所 1952 195p
 22. 琉球と支那との関係 玉代勢法雲 ホノルル マカレー東本願寺 1952 48p
 23. 現代日本文学全集 第2篇 坪内逍遙集 改造社 昭和4 503p
 24. Civil Administration of the Ryukyu Islands, 1 July 1963-30 June 1964 Vol. X II U. S. Army Naha, 1964 368p

ブラウジングコーナー

ウバギー (産着)

生まれた赤児に初めて着せる着物を産着(ウバギー)と普通いっているわけだが、お年よりの話によると昔はぼろぎれや着古しの着物にくるんで育てた方が、良く育つといわれていたそうだ。村や町によってちがいはあるが、袖のある着物を着せるための祝事を生まれてから3日目か、7日目に行なうならわしになっていたらしい。この日に着せるものを産着と言った筈だが、私が子どもの頃は、赤ちゃんが生まれたその日、又は翌日のことをさし、更にその日の祝客をもてなすための食物をもさしていた。我々餓鬼どもの間では、もっぱら食物の方をさす言葉として通用した。ウバギーは道行く人であやかりたいものは誰でも食べて良いことになっていた。子どもたちが遊んでいる所へ「ウバギー ドオイ」と声がかかると、遊びも道具もうっちゃって、一目散にウバギーのある家へ向って皆駆け出すのだった。これが実にうまかった。ムジ(田芋=里芋のくき)と豆腐の入ったおつゆを飯にかけただけのものだったが、どうしてあんなにおいしかったのか、今もって不思議である。大人になってから作らせて食べてみたが、それ程おいしいとは思えなかった。

(T. Y. 閲覧係)

「昭和58年度 大学図書館職員長期研修」参加雑感

松原 敏夫

研修らしい研修から最近では遠ざかっていたが、久方ぶりに研修参加の機会に恵まれた。上記のものだが、期間は8月4～24日。会場は茨城県の筑波学園研究都市の一角に存在する図書館情報大学であった。受講生は私を含め38名。筑波学園研究都市と称される地域のスペースは、東京都特別行政区23区分にも相当するといわれ、各省庁の附属研究機関、大学の施設が散在している。受講生達は図情大の学生宿舎に寝泊りしながら、暑い3週間頭脳開発に努めた。

以下に、研修項目をあげておく。

「大学図書館の在り方 大学図書館行政 学術情報センターシステム開発調査概要 学術情報システムと大学図書館 書誌情報の国際的標準化と MARC 中国語文献のデータベース化 一次資料の整備・運用 大学図書館のシステム化 図書目録システムの開発 同実習 大学におけるデータベース形成とその利用 著作権に関する今日の問題 二次情報検索の理論と技法（機械検索） 二次情報検索の実際（〃） 大型計算機センターネットワークの現状 国文学データベースの形成 社会科学における情報システム「NEEDS」 新データ通信網 二次情報検索の理論と技法（マニュアル検索） 二次情報検索の実際（〃） 諸外国の学術情報流通体制の動向 大学図書館の建築及び設備 自動翻訳と情報の国際交流 企業における事務効率化 専門職能論 将来の大学図書館像 共同研究討議（受講生による） 見学」

以上の受講内容を見ると、やはり殆んどがコンピュータ利用を背景にした進め方であり、近い将来実現する学術情報システムとの関連が主であった。手書き作業から機械化へと大学図書館はその業務の流れを変容しつつある。受講生の一人が「文部省が太鼓たたいて、大学図書館員の我々が調子合わせて踊っている」というような比喻をしたが、まさしく「学術情報システム」の実現は各大学図書館を巻き込んだのポリシーであるだけに、それぞれの大学はその対応に力を注いでいるのである。そういう意味で、こういう研修のメリットは大きいと思われる。こういう形での講義が集中的に聞けるのは他にはないし、何よりも図書館を取りまく現状の把握にも役立っている。参考調査業務をやったことがないせいか、恥しながら私は「SSCI」という情報検索用のツールの存在を今度の研修で初めて知った次第である。

日常の隋性に鞭打ち、業務の再認識と未来の情報を獲得しようと思いながら参加したが、その効果は大であった。特に、全国の各大学からの参加者達と自分の職場の現状を語り合うことが出来たのはよかった。こういう情報の交換は又とないし、非常に勉強になった。私のように井の中の蛙然として自分の範囲内でしか業務を考えなかった者にとっては、殆んど刺激的であった。

—————(まつばら としお：整理係)—————

アセアン五ヶ国関係資料コーナーの設置について

国や県が国際理解の一環として、東南アジアとの交流を重視し、また琉大にも留学生や研修生の受入れが予想されることから図書館では、特にアセアン五ヶ国関係資料コーナーを参考図書室内に設置しましたので御利用下さい。なお最初に、関係各国辞典、ハンドブック類等参考図書を次にあげ、次回に一般図書の目録を掲載します。

和書

1. 東南アジア関係資料総合目録 アジア経済研究所 1964 025.23-A27
2. アジア地域総合研究文献目録 文部省 1960 029.6-Mo31
3. アジア経済研究所蔵書目録 1959～1968 1～2 アジア経済研究所
1969 029.6-A27
4. 発展途上地域地図目録 アジア経済研究所 1971 029.6-A27
5. フィリピンの戦い 月刊沖縄社 1980 210.7-F55
6. アジア歴史事典 1—10巻 平凡社 1962 220.03-A27
7. 東南アジア社会文化辞典 東京堂 1978 223.033-Ka91
8. アジア歴史地図 平凡社 1966 290.38-Ma74
9. 東南アジア要覧 上・下 時事通信社 1974 292.3-To63
10. 東南アジア要覧 1980～1982 東南アジア調査会 292.3-To63
11. 南方圏要覧 朝日新聞社(大阪) 1942 292.4-A82
12. 南方文献目録 日本拓殖協会 1942 292.403-N77
13. 増補南方文献目録 大同書院 1944 292.403-N77
14. 東南アジア関係資料総合目録 増補改訂版 日本エカフェ協会 1958 292.031-Ko49
15. 東南アジア関係資料総合目録 補遺 日本エカフェ協会 1959 292.031-Ko49
16. 東南アジア関係資料総合目録 補遺Ⅱ 292.031-Ko49
17. アジア動向年報 1978～1981 アジア経済研究所 302.2-A27
18. 東南アジア＝ハンドブック 毎日新聞社 1972 302.23-Ma81
19. 国際連合アジア太平洋統計年鑑 1973, 1977～1980 国際連合 330.59-Ko51
20. アジア太平洋経済社会年報 1978～1981 国際連合 332.2-Ko51
21. アジア経済関係文献目録 アジア経済研究所 1968 332.203-A27
22. 北アジアの経済開発Ⅱ アジア経済研究所 1973
23. 西マレーシア生物資源環境地図 科学技術庁 1975 468-Ka16
24. 馬來語大辞典 旺文社 1943 829.403-Ta65
25. 最新馬來語辞典 弘文社 1944 829.4-Sa85
26. インドネシア語分類単語集 大学書林 1978 829.4-Su18
27. インドネシア語会話ハンドブック 大学書林 1975 829.4-Su18

洋書

1. **An Annotated Bibliography of Philippine, Social Sci. Vol. 3-1 : Political Sci**
Univ. of Philippine. 1960 020.5-AN
2. **Quarterly Checklist of a Oriental Studies.** Johnson Reprint Corp. 1971
025.2-QU
3. **East Asia : A Bibliography of Bibliographies.** Univ. of Hawaii. 1967 029.031-
NU
4. **South and Southeast Asia : A Bibliography of Bibliographies.** Univ. of
Hawaii 1966 292.031-NU
5. **Introduction to Asia : A Selective Guide to Background Reading.** Lib. of
Congress. 1955 220.03-QU
6. **A Guide to Books on South East Asian History. 1961-66** A. B. C. 1969
223.031-HA
7. **Asia Who's Who** 3rd. ed. Pan-Asia Newspaper All. 1960 282.03-AS
8. **Who's Who in the East. 1970-1971.** Marquis. 1969 282.03-WH
9. **Who's Who in the East. 1974-1980** Marquis. 1979 285-WH
10. **Union List of Serials of Government Agency Libraies of the Philippines.**
Univ. of Philippine. 1955
11. **The Far East and Australasia.** Europe Publication Limited, 1971 290.3-
FA
12. **A Guide to Reference Materials on Southeast Asia.** Yale Univ. Press.
1970 292.031-JO
13. **Southeast Asia.** Greenwood Press. 1964 292.031-HO
14. **Southeast Asia.** Univ. of Arizona Press. 1969 292.031-TR
15. **Golden Guide to South & East Asia.** Tuttle Co., Inc. 1969 292.036-JO
16. **Bibliography of Indonesian Peoples and Cultures.** Yale University. 1962
292.403-KE
17. **An English-Indonesian Dictionary.** Cornell University Press. 1975 821.43
-EN
18. **Robertson's Practical English-Thai Dictionary.** Tuttle Co. 1981 829.3-RO
19. **Thai-English Students Dictionary.** Stanford University Press. 1964 829.3
-HA
20. **Concise Indonesian Dictionary.** Charles E. Tuttle Co. 1982 829.4-VA
21. **Concise English-Tagalog Dictionary.** Charles E. Tuttle Co. 1981 829.4-CO
22. **An English-Indonesian Dictionary.** Cornell University Press. 1975 829.4-
EN
23. **A Malay-English Dictionary. Pt. 2** Macmillan Co. 1955 829.4-W
24. **An Indonesian English Dictionary.** Cornell Univ. Press. 1963 829.403-EC
(参考調査係)

上原分室だより

上原キャンパスの医学部の中に、この4月より図書館の上原分室が開設されています。基礎講義実習棟一階の一教室を借りての暫定図書室で、医学関係は来年度に医学分館が上原キャンパスに出来上るまで、当分、与儀分室との二本立て営業です。与儀分室には、主として臨床系のものを残し上原分室には基礎系の図書資料を持ってきてありますが、手狭なこともあって製本雑誌を含めて約1万2千冊しか置いてありません。しかし、必要なら与儀分室から、あるいは本館から取り寄せることができます。当然、逆の場合もOKです。

現在、上原分室に置いてある83年度購入雑誌は、和雑誌約40種、洋雑誌約170種です。これらの雑誌のうち、バックナンバーのあるものは、洋雑誌は10年、和雑誌は5年分が上原分室に持ってきてあります。

開室時間は、平常は週日8:30~19:00、土曜日8:30~17:00です。

詳しいことは係にお尋ね下さい。電話は、09889(5)3331内線340です。

(医学部 上原図書室)

上原分室83年度購入雑誌一覧(和洋別,¹ABC順)

- | | |
|---|---|
| 1. Acta Physiologica Scandinavica. | 17. Anatomical Record. |
| 2. Advances in Cancer Research. | 18. Anatomischer Anzeiger. |
| 3. Advances in Enzymology and Related Areas of Molecular Biology. | 19. Annals of Occupational Hygiene. |
| 4. Advances in Immunology. | 20. Annals of Tropical Medicine and Parasitology. |
| 5. Advances in Protein Chemistry. | 21. Annual Review of Biochemistry. |
| 6. American Industrial Hygiene Association Journal. | 22. Annual Review of Microbiology. |
| 7. American Journal of Anatomy. | 23. Annual Review of Physiology. |
| 8. American Journal of Epidemiology. | 24. Antimicrobial Agents and Chemotherapy. |
| 9. American Journal of Forensic Medicine and Pathology. | 25. Applied and Environmental Microbiology. |
| 10. American Journal of Industrial Medicine. | 26. Archives of Biochemistry and Biophysics. |
| 11. American Journal of Nursing. | 27. Archives of Environmental Contamination and Toxicology. |
| 12. American Journal of Physical Anthropology. | 28. Archives of Environmental Health. |
| 13. American Journal of Physiology. | 29. Archives des Maladies Professionnelles de Medecine du Travail et de Securite Sociale. |
| 14. American Journal of Public Health. | 30. Archives of Physical Medicine and Rehabilitation. |
| 15. American Journal of Sociology. | |
| 16. American Journal of Tropical Medicine and Hygiene. | |

¹* 洋雑誌の場合には語頭が大文字の単語のみのABC順。それ以外の単語は配列上無視してある。

31. Archives of Toxicology.
32. Biochemical and Biophysical Research Communications.
33. Biochemical Journal.
34. Biochemical Pharmacology.
35. Biochimica et Biophysica Acta.
36. Blood.
37. Brain.
38. Brain Research.
39. British Journal of Haematology.
40. British Journal of Industrial Medicine.
41. British Journal of Psychiatry.
42. Canadian Journal of Microbiology.
43. Canadian Journal of Public Health.
44. Canadian Nurse.
45. Cancer.
46. Cancer Research.
47. Cell and Tissue Research
48. Clinical Chemistry.
49. Clinical and Experimental Immunology.
50. Cold Spring Harbor Symposia on Quantitative Biology.
51. Culture, Medicine and Psychiatry.
52. Current Contents (Life Sciences)
53. Environment.
54. Environmental Health Perspectives.
55. Excerpta Medica (Section 35 : Occupational Health and Industrial Medicine).
56. Experientia.
57. Experimental Brain Research.
58. Experimental Cell Research.
59. Experimental Parasitology.
60. Federation Proceedings.
61. Folia Primatologica.
62. Forensic Science International.
63. Geriatrics.
64. Health Services Research.
65. Health Visitor.
66. Helminthological Abstracts (Series A : Animal and Human Helminthology)
67. Human Ecology.
68. Immunology.
69. Immunological Reviews.
70. Index Medicus.
71. Infection and Immunity.
72. International Journal of Cancer.
73. International Journal of Environmental Studies.
74. International Journal of Epidemiology.
75. International Journal of Fertility.
76. International Journal of Health Services.
77. International Journal of Nursing Studies.
78. International Journal for Parasitology.
79. International Journal of Primatology.
80. International Journal of Social Psychiatry.
81. International Nursing Index.
82. International Nursing Review.
83. International Review of Cytology.
84. Japanese Journal of Physiology.
85. Journal of American Chemical Society.
86. Journal of Anatomy.
87. Journal of Applied Physiology.
88. Journal of Autonomic Nervous System.
89. Journal of Bacteriology.
90. Journal of Biological Chemistry.
91. Journal of Cell Biology.
92. Journal of Clinical Microbiology.
93. Journal of Clinical Pathology.
94. Journal of Comparative Neurology.
95. Journal of Consulting and Clinical Psychology.
96. Journal of Environmental Health.
97. Journal of Experimental Medicine.
98. Journal of Forensic Sciences.
99. Journal of General Microbiology.
100. Journal of General Physiology.
101. Journal of Health and Social Behavior.
102. Journal of Histochemistry and Cytochemistry.
103. Journal of Human Evolution.
104. Journal of Immunology.

- | | |
|---|---|
| 105. Journal of Infectious Diseases. | 144. Preventive Medicine. |
| 106. Journal of Inherited Metabolic Disease. | 145. Proceedings of the National Academy of Sciences of the U.S.A. |
| 107. Journal of Inorganic Biochemistry. | 146. Proceedings of the Royal Society of London (Series B : Biological Science) |
| 108. Journal of Medical Education. | 147. Proceedings of the Society for Experimental Biology and Medicine. |
| 109. Journal of Molecular Biology. | 148. Psychosomatic Medicine. |
| 110. Journal of Neurocytology. | 149. Public Health. |
| 111. Journal of Neurophysiology. | 150. Public Health Reports. |
| 112. Journal of Nursing Administration. | 151. Review of Applied Entomology (Series B : Medical and Veterinary) |
| 113. Journal of Nutrition. | 152. Science. |
| 114. Journal of Occupational Medicine. | 153. Scientific American. |
| 115. Journal of Parasitology. | 154. Social Science and Medicine. |
| 116. Journal of Pharmacology and Experimental Therapeutics. | 155. Social Welfare. |
| 117. Journal de Physiology. | 156. Sociology of Health and Illness. |
| 118. Journal of Physiology. | 157. Southeast Asian Journal of Tropical Medicine and Public Health. |
| 119. Journal of Psychosomatic Research. | 158. Thrombosis and Haemostasis. |
| 120. Journal of School Health. | 159. Thrombosis Research. |
| 121. Journal of Tropical Medicine and Hygiene. | 160. Toxicology Abstracts. |
| 122. Laboratory Investigation. | 161. Transactions of the Royal Society of Tropical Medicine and Hygiene. |
| 123. Medical Care. | 162. Transcultural Psychiatric Research Review. |
| 124. Medicine and Science in Sports and Exercise. | 163. Trends in Pharmacological Sciences. |
| 125. Methods in Enzymology. | 164. Tropenmedizin und Parasitologie. |
| 126. Microbiology and Immunology. | 165. Tropical Diseases Bulletin. |
| 127. Milbank Memorial Fund Quarterly. | 166. Virchow Archiv (B : Cell Pathology including Molecular Pathology) |
| 128. Nature. | 167. Vox Sanguinis. |
| 129. Neurology. | 168. WHO Publications. *2 |
| 130. Neuroscience. | 169. Zeitschrift fur Rechtsmedizin. |
| 131. Nursing Clinics of North America. | |
| 132. Nursing Forum | |
| 133. Nursing and Health Care. | |
| 134. Nursing Mirror. | |
| 135. Nursing Outlook. | |
| 136. Nursing Research. | |
| 137. Nursing Times. | |
| 138. Occupational Health. | |
| 139. Okajima Folia Anatomical Japonica. | |
| 140. Parasitology | |
| 141. Perspectives in Psychiatric Care. | |
| 142. Pharmacological Reviews. | |
| 143. Population Trends. | |
| | *2 |
| | (1) Bulletin of WHO. |
| | (2) Environmental Health Criteria. |
| | (3) International Digest of Health Legislation. |
| | (4) International Histological Classification of Tumours. |

2* 168.WHO Publications に含まれる逐次刊行物

- | | |
|---|---------------|
| (5) Official Records of WHO. | 10. 看護研究 |
| (6) Public Health Papers. | 11. 看護教育 |
| (7) WHO Chronicle. | 12. 看護実践の科学 |
| (8) WHO Food Additive Series. | 13. 看護展望 |
| (9) WHO Offset Publication. | 14. 季刊精神療法 |
| (10) WHO Pesticide Residues Series. | 15. 健康管理 |
| (11) WHO Regional Publications European Series. | 16. 公害と対策 |
| (12) WHO Vaccination Certificate Requirements International Travel. | 17. 公害研究 |
| (13) Weekly Epidemiological Record. | 18. 厚生の指標 |
| (14) World Health. | 19. 公衆衛生 |
| (15) World Health Forum. | 20. 内科 |
| (16) World Health Organization Basic Documents. | 21. ナースステーション |
| (17) World Health Organization Technical Report Series. | 22. 日本臨床 |
| (18) World Health Statistics Annual. | 23. 臨床栄養 |
| (19) World Health Statistics Quarterly. | 24. 臨床看護 |
| (20) Work of WHO. | 25. 臨床精神医学 |
| 1. 発達 | 26. 労働衛生 |
| 2. 保健の科学 | 27. 労働科学 |
| 3. 保健婦雑誌 | 28. 労働の科学 |
| 4. 医学のあゆみ | 29. 精神医学 |
| 5. 医学と生物学 | 30. 社会精神医学 |
| 6. 医療と福祉 | 31. 障害者問題研究 |
| 7. 児童青年精神医学とその近接領域 | 32. 小児医学 |
| 8. 助産婦雑誌 | 33. 小児の精神と神経 |
| 9. 看護 | 34. 周産期医学 |
| | 35. 総合看護 |
| | 36. 総合臨床 |
| | 37. 代謝 |
| | 38. 蛋白質・核酸・酵素 |

〔お知らせ〕

年末年始の開，閉館について

12月26(月)～27日(火) 開館 8:30～17:00

12月28(水)～1月4日(水) 閉館 御用納めおよび年末年始特別休暇，御用始めのため

1月5日(木) 開館 8:30～17:00

1月6日(金) 平常に復し，夜間開館も行ないます。

なお長期貸出しは，12月19日(月)から1月17日(火)までです。

(閲覧係)

〔本学教官著書寄贈コーナー〕

木崎甲子郎(地 殻 学)	「海に沈んだ古琉球」 沖縄タイムス 1983
兼 島 清(分析化学)	「日本地球化学会年会講演要旨集」 日本地球化学会 1982
島 袋 善 光(英 語)	「諺に見る沖縄の心」 1983
文 沢 義 永(発達心理学)	「道德性の発達と心理」 小林出版 1983
福 仲 憲(農業経営学)	「日本農書全集」 34 巻 農山漁村文化協会 1983
田 里 友 哲(地 誌 学)	「沖縄における開拓集落の研究」 1983
篠 原 武 夫(森林経理学・林政学)	「林経協月報 No. 264」 日本林業経営者協会 1983 「森林組合 159号」 全国森林組合連合会 1983 「グリーン・ページ 10 巻 11 号 日本緑化センター 1983
山 本 總(地 積 学)	「大阪微化石研究会機関誌」 大阪微化石研究会 1983
目 崎 茂 和(地 理 学), 島 袋 伸 三(人文地理学)	「南島の地名 第1集」 南島地名 研究センター 1983
森 田 孟 進(仏 語)	「南島の憂鬱」 あき書房 1983

投 書 箱 よ り

8月～10月の投書について次のとおりお答えします。

1. 騒音について
 - 試験期間中館内が騒々しい。
できる限り巡回するようにしていますがお互も注意し合うようお願いします。
2. 閉館時の消灯について
 - 8時45分に戸閉りするのは理解できるが8時50分に消すのはやめてほしい。
消灯には十分注意し、迷惑をかけないようにしています。
3. 情報工学関係の図書がたりない
 - 情報工学, 電子工学関係図書は現在約650冊程あります。毎年新刊を購入するよう努力はしておりますが、希望どおりできないのを残念に思います。
4. 雑誌類の貸出しについて
 - 「法学セミナー」の貸出しをやってほしい。
図書館資料には禁帯出または帯出を制限している貴重な資料があります。(附属図書館閲覧規程第8条) 学術雑誌は貴重な資料で、破損、紛失した場合、補充が困難で帯出を制限しております。館内で大事に利用して下さい。また複写もできますので大いに利用して下さい。

図書館事情

〔第 149 回図書館運営委員会〕

日時：昭和 58 年 8 月 3 日(水) 14:00~15:00

場所：図書館会議室

議 題

1. 工・農学部資料室設置について

報告事項

1. 昭和 58 年度図書館経費当初配分額について

〔第 150 回図書館運営委員会〕

日時：昭和 58 年 9 月 17 日(土) 9:10~10:10

場所：図書館会議室

議 題 なし

報告事項

1. 図書館運営についての苦情及び改善要請（投書）
2. 電算化（目録情報）の進捗状況について
3. 次期図書館長候補者について

臨時図書館運営委員会

日時：昭和 58 年 10 月 1 日(土) 9:10~10:40

場所：図書館会議室

- 議 題
1. 昭和 58 年度後学期図書館運営委員会の定例日について
 2. 図書館運営委員会規則第 6 条委員長代行の選出について
 3. 昭和 59 年購入学術雑誌の中止及び新規購入選定について

〔第 151 回図書館運営委員会〕

日時：昭和 58 年 10 月 17 日(月) 10:30~11:30

場所：図書館会議室

議 題 なし

報告事項

1. 古文献の展示会について
2. 教官研究図書の確認調査について
3. 沖縄における医学・保健学関係資料目録の発行について
4. 農学部・長期貸出雑誌のリストについて
5. ジョージ・H・カー氏への感謝状の贈呈について
6. 琉球大学附属図書館医学分館の設置申請について

<出張>

- 58年8月3日(水) 整理係松原敏夫, 昭和58年度大学図書館職員長期研修, 茨城県
8月24日まで
- 58年8月17日(水) 図書係 本郷清次郎, 九州地区医学図書館実務者連絡会議出席,
福岡県, 8月20日まで
- 58年9月7日(水) 雑誌係長宮島恵曠, 整理係 松原敏夫 昭和58年度九州地区国立
大学図書館協議会実務者連絡会議出席 北九州市. 9月10日まで

<見学者>

- 昭和58年7月22日(金) 沖縄県高校司書部会 (50人)
- 昭和58年8月12日(金) 県立図書館職員 (18名)
- 昭和58年8月27日(土) 東風平中学校 (13名)

<来館者>

- 昭和58年10月18日(火) 文部省情報図書館課糸金係長外1名
- 昭和58年10月28日(金) 国立国会図書館山崎氏

<講演会> 第8回

- 日時: 9月16日(金) 17:30~
- 講演者: 篠原武夫(林政学) 農学部助教授
- 演題: 沖縄の森林, 林業について

<講演会> 第9回

- 日時: 10月31日(月) 17:30~
- 講演者: 目崎茂和(地理学) 教養部助教授
- 演題: 沖縄の地形と地名(沖縄の自然その2)

<映画会> 第6回

- 10月21日(金), 22日(土) 「ファミリー・プロット」 アルフレッド・ヒッチコック監督
- 見学者 198人

<映画会> 第7回

- 10月28日(金), 29日(土) 「鳥」 アルフレッド・ヒッチコック監督 見学者 91人

<協議会・委員会>

- 11月2日(水) 第5回沖縄研究資料調査収集小委員会
- 議題: 昭和58年度の収集資料について(各委員の収集状況報告等も)

<その他>

- 昭和58年8月12日(金) 沖縄県大学図書館協議会研修会
- 昭和58年10月24日(月) 沖縄関係貴重資料展示会 29日まで

<千原新館落成祝電について>

首里キャンパスより千原へ移転し、開館したのは1981年9月1日であった。2年を経過したことになる。開館を祝して祝電を戴いた。遅きに失して大変申し訳ないが記してお礼を申し上げます。

「新館の落成を祝し貴館の今後益々の御発展をお祈り申し上げます。」

東京大学図書館長 裏田武夫

東北大学図書館長 服部弘司

千葉大学図書館部長 東 米吉

富山医科薬科大学図書館事務長 遠藤哲朗

以上ありがとうございました。

琉球大学附属図書館報 “びぶりお” 第16巻 第4号 [通巻第61号]

昭和58年12月1日 発行

発行人 平良恵仁 沖縄県中城村字南上原858

電話(09889)5-2221 内線(2143) 編集 参考調査係